

みんなのひろば

▶銀座中央広場から所沢元町コミュニティ広場に場所を移して開催された「第2回野老澤灯廊下」。広場には約130本の地口行灯やB級グルメ選手権出場店などが並びました。また、地元アーティストのミニライブや、きもだめしなどのイベントも行われ、新たな夏の風物詩となりました。

7月17日(土)
所沢元町コミュニティ広場ほか
(撮影：市民カメラマン・八木豪彦)



▲478人の選手がエントリーした「第29回入間郡市柔道選手権大会」。選手たちは日々のけいこの成果を存分に発揮し、会場は大きな熱気で包まれました。

7月18日(日)／市民武道館



▲航空発祥の地で開催された「紙ブーメラン工作教室」。子どもたちはヘリコプターなどが並ぶ館内で自分で作った紙ブーメランを飛ばしました。

7月17日(土)／所沢航空発祥記念館
(撮影：市民カメラマン・中村 仁)

▶親子で福祉について考える講座「福祉レクリエーション等体験会」。参加者は早稲田大学の学生と、アイマスクや車いす体験などを学びました。

7月10日(土)／早稲田大学所沢キャンパス
(撮影：市民カメラマン・箕輪香里)



「親子で福祉について考える講座」が8月21日(土)に中央公民館で開催されます。詳細は本号13頁をご覧ください。



目指せ 低炭素化! 温暖化をとめよう



省エネ製品を選ぼう

エアコン、テレビ、冷蔵庫、自動車…、私たちの快適な暮らしは、さまざまな便利な製品によって支えられています。しかし、これらは、電気やガソリンなどを使うことによって二酸化炭素を排出しています。

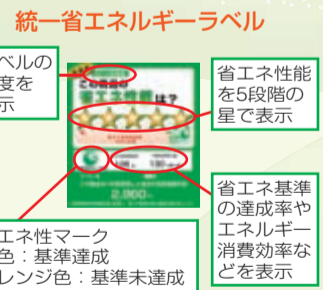
◆省エネ製品を選ぼう

家庭から排出される二酸化炭素をエネルギー別で見ると、電気からの排出量が一番多く(約42%)、次がガソリン(約29%)となります。日本の環境技術は進んでいて、省エネ家電やエコカーなどには、多くの省エネ対策が取り入れられています。例えば、2008年型のエアコンと1995年型のエアコンを比較すると、約40%も省エネ効率が高く、その分光熱費も安くなります。購入時に迷ったときは、エネルギー効率の高い商品を選びましょう。

◆省エネラベルをチェックしよう

エアコンなどの16品目の家電製品には「省エネルギーラベル」が、エアコン、冷蔵庫、テレビ、電気便座には「統一省エネルギーラベル」が表示されています。

購入する際は、これらのラベルをチェックしましょう。



◆家電の電気使用量を測ってみよう!

市では、実際に電気使用量を目で確認できる「省エネナビ」と「ワットアワーメーター」を市民の方に貸し出ししています。省エネナビは、家庭全体の電気使用量や電気料金、二酸化炭素排出量を確認することができます。ワットアワーメーターは、個々の家電製品の電力、電圧、電力量を測定できるほか、電気料金、二酸化炭素排出量も確認することができます。

所沢市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています
問い合わせ 環境総務課 ☎2998-9133 ☎2998-9394



川でおぼれた児童を救助した生徒に「消防総監感謝状」と「警視総監感謝状」が贈呈されました

6月19日(土)午後2時56分ごろ、所沢市と清瀬市の間を流れている柳瀬川で川遊びをしていておぼれた小学2年生の男の子を柳瀬中学校3年生の原口夕香さん、溝上聖泰さん、聖泰さんの弟で1年生の溝上春喜さんの3人が救助しました。

3人は友人らと遊んでいるとき、対岸付近で男の子がおぼれているのを原口さんが発見しました。そして溝上さん兄弟が衣服を着たまま川に飛び込み、聖泰さんが男の子を沈まないように肩に乗せ、春喜さんが押して岸に引き上げました。聖泰さんは「泳ぎは苦手ですが、男の子を肩に乗せて必死で泳ぎました」、春喜さんは「雨が降った後、いつもより水の量が多く足が着かなくて怖かったけど助けるのに無我夢中でした」と救助のときを振り返ります。男の子を岸に引き上げたときは意識と呼吸がありませんでしたが、原口さんがすぐに心臓マッサージを行い約2分後に男の子は水を吐き出して意識を取り戻しました。原口さんは心臓マッサージのやり方を習ったことはありませんでしたが「助けたいとの強い思いで、テレビで見た記憶をもとに心臓マッサージをしました。男の子が水を吐き出し意識を戻したときはうれしかった」と笑顔で話してくれました。

その勇気ある行動がたたえられ、6月23日に東京消防庁から消防総

柳瀬中学校

原口夕香さん、溝上聖泰さん、溝上春喜さん

監感謝状を、7月1日に警視庁から警視総監感謝状が贈られました。3人は、「協力して男の子を助けられて本当に良かった。また、感謝状をもらってうれしかった」と素直に喜んでいました。

夏休みは、プールや川遊びなどに出かける機会も多くなります。「水難事故にはくれぐれも注意して遊んでください」とメッセージを頂きました。

皆さんも水難事故には注意してください。また、消防本部では、生命を救うための救命講習会を実施しています。受講を希望される方は、消防本部救急課☎2929-9123へお問い合わせください。



▲溝上春喜さん、溝上聖泰さん、原口夕香さん(左から)

プレーイングメンバ
ぼくは、山口サントムというチームに入っています。今のチームの中では、ディフェンダーというポジションをやっています。ディフェンダーは、ボールをこわがらさずいっしょうけぬいボールにあたっていけば、絶対にボールがうばえて次のプレーがしやすくなることを教えてもらって、プレーでいかにがんばって、日本代表の長友選手や岡利王選手みたいになりたいんです。せめてもう同時に全力でチームの心を一つにして何回でもゆうゆうでできるのがいいですね。



誰でも エッセイ
◆テーマ「サッカー」
◆初めてのサッカー
和ヶ原 田中隆清
新制の6・3制が始まり、新校舎が完成する松原の中に木造で建ったところ、運動場はまだ整ってなく、ことあるごとに担任は砂浜の海岸に生徒を集め授業をこなしていた記憶がある。
ハマユウの咲く砂浜で体育の1時間を過ごしたが、先生になったばかりを思わせるN先生は、突然にサッカーを授業にして、ルールを教えた。手は使わずに体の部分で足を主力に相手のゴールに自分たちのボールを蹴り込むとだけ教え、初めてのサッカーとやらをやった。砂浜での走りは息が続かず、数10分ゴールのない相手目掛けてボールを蹴り込む大変なスポーツだった記憶がある。初めてやったサッカーだが今日の

ところざわ 歴史まめ知識 4

所沢市域にかかわる歴史的事項を50音順に紹介しています。今号は「え」です。

え 英和学舎 明治31年(1898)所沢町に開校した私塾。現在の県立所沢高等学校の前身。町内に高等小学校後の教育の場がなかった当時、医院を開業していた白井要作と地元の名士小沢綾助が発起人となり設立されました。当初、教員は東京法学院(現中央大学)卒の高松太喜次だけでしたが、それでも開校の年だけで51名の入学者がありました。その後、校名を和英学舎、所沢実務学校、所沢実業学校と変え、昭和9年(1934)に町立となりました。さらに所沢商業学校、所沢工業学校と変遷、昭和23年に町立所沢高等女学校と合併し、町立所沢高等学校になりました。昭和28年に県立となり現在に至っています。

江戸道 江戸街道とも言い、江戸方面へ通じる道を一般的にこう呼びます。所沢地区では、通称銀座通りやプロベ通りが該当し、特にプロベ通りは、明治28年(1895)の所沢駅開設で寸断されるまで、もともとは所沢の町場から北秋津へ通じる経路でした。中世は鎌倉街道が主要道でしたが、江戸時代には江戸方面への道が発達していきました。他地区にも江戸道と呼ばれる古道が残っています。

掩体壕 太平洋戦争中に飛行機を隠すため、飛行場周辺の民有地につくられた施設。終戦後、現在の中新井、中富、下富、神米金地域には、いくつもの掩体壕が残されました。昭和20年代に高騰した鉄を目的に、一部が取り壊されたものの、その後も多く残っていたため、昭和43年には取り壊しを求めて国に陳情がなされました。同49年から取り壊しが始まり、同53年に終了しました。



▲市内にあった掩体壕(昭和49年)

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究 ☎2991-0308 ☎2991-0309